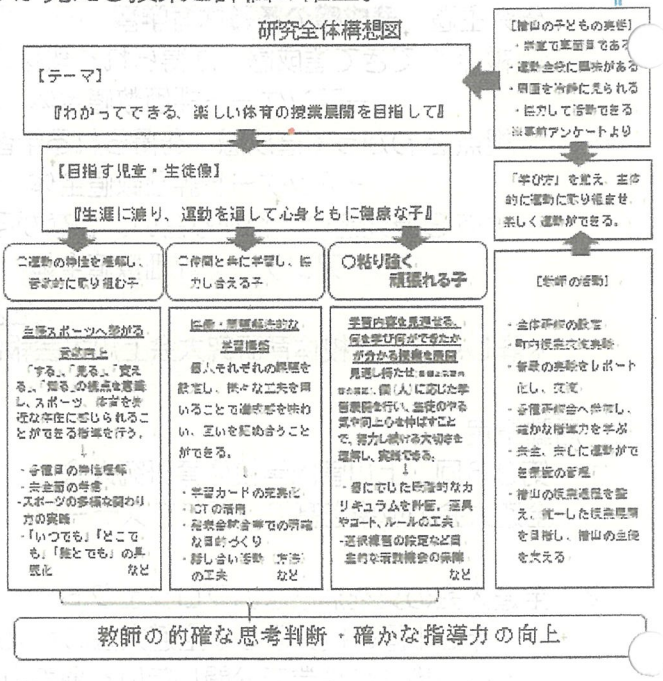
令和4年度檜山支部活動報告

≪研究主題≫　『わかってできる、楽しい体育の授業展開を目指して』
≪目指す児童・生徒像≫『生涯に渡り、運動を通して心身ともに健康な子』
研究の視点
①運動の特性を理解し、意欲的に取り組む子…生徒が意欲的に運動を楽しむ姿を引き出す工夫。
「する」、「見る」、「支える」、「知る」の視点を意識した授業づくり
②仲間と共に学習し、協力し合える子…学習形態や話し合い方法の工夫。ICT の有効的な活用方法。
協働的・課題解決的な場面を多く設定した授業展開の構築
③粘り強く頑張れる子…「できた、わかった、楽しかった」に繋げる工夫。
個に応じた課題の設定、「何を学び」、「何ができた」かが見える授業と評価の確立。

研究全体構想図



今年度の取組から

令和3年度よりICT機器をより多く活用し、有効的な活用方法を検証していくという取り組みを実施して2年目になる。(注意点としては運動量や活動時間を確保することとしている。)

【主な活用方法】
①カメラ機能を活用した相互評価や自己評価
②映像を活用したフォーム、やり方の確認
③学習カードのデジタル化
④作戦会議資料や作戦盤の活用
⑤ルールや技能向上のポイント調べ
⑥シンキングツールの活用による思考の可視化

→研究大会での実践交流において、各教諭の活用を交流し、有意義な時間となった。まとめとして「ICT機器の使用が目的にならないこと。あくまでも、ツールの一つとして、生徒の実態に合わせて活用することが大切である。」という結論に至った。

今年度の主な活動

8月　授業交流会　都合により中止
10月　南部三町合同研究大会
授業者:厚沢部小学校　山本　貴幸　教諭
(北部二町合同研究大会は中止)
11月　北海道学校体育研究大会　1名参加
2月　檜山学校保健体育研究集会
授業者:江差小学校　北田　俊介　教諭
※今年度実技研修会は未実施

合言葉
「～【体育嫌いをつくらない】授業作りと声かけを心がけよう～」